東洋町 橋梁長寿命化修繕計画

令和６年１１月

東洋町役場 産業建設課

1．東洋町の長寿命化修繕計画の目的

東洋町が管理する橋長 2m 以上の橋梁は、2022 年現在 86 橋あります。これらの橋梁の多くは、高度成長期以降に架設された橋です。実際、1931 年から 1995 年に全体の 90%である 77 橋が架設されています。また、架設後 50 年以上経過した橋梁が占める割合は現在 38%（33 橋）ですが、20 年後には 85%（73 橋）と橋梁の老朽化が一段と進行していきます。

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

そこで東洋町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

2．長寿命化修繕計画の対象橋梁

今回の長寿命化修繕計画では、橋長 2m 以上の橋梁（86 橋）に対して計画を策定しました。

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	0	7	81	88
うち計画の対象橋梁数	0	7	79	86
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち令和4年度計画策定橋梁数	0	7	79	86

表 1　対象橋梁数

3．本計画による修繕の内容

策定した計画に基づき橋の塗装の塗替えや傷んだ箇所の補修などを計画的に順次実施します。

コンクリートのはくり	鉄筋の露出
支承の機能障害	変形・欠損

図 1　橋梁の主な損傷例

4．健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁の点検は、図２に示すように日常点検、定期点検、臨時点検に区分されます。橋梁維持管理の一環として現状を把握し、安全性や耐久性に影響すると考えられる損傷を早期に発見し対策を行う事により、常に橋梁が良好な状態であることを目指します。

定期点検は、近接した目視点検で行う事とし、橋の健全性は５年毎に定期点検を実施して、部材の損傷種類や損傷程度からⅠ（健全）～Ⅳ（緊急措置段階）の４段階で評価します。

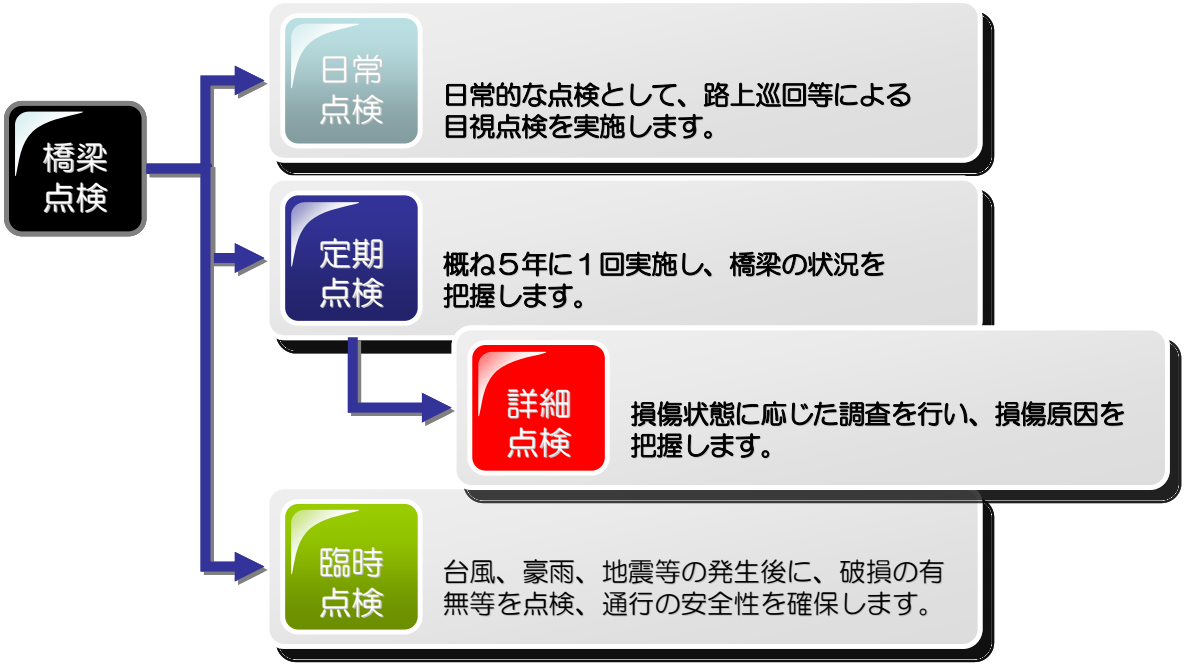

図 ２　橋梁点検フロー

5．長寿命化及び修繕に係わる費用の縮減に関する基本的な方針

① 定期点検による橋梁の状態の継続的な把握により橋梁の安全性を確保します。
② 「事後保全型」の管理から「予防保全型」の管理への移行によりコストの縮減を行います。
③ 中長期的な観点から対策の優先順位を判断するとともに予算の平準化を図ります。
④ 個々の橋梁の重要度や損傷程度を総合的に評価した修繕計画を策定することにより、効率的な維持管理を行います。

6．長寿命化修繕計画による効果

本計画を実施することで、橋の寿命を 10 年から 50 年以上延ばすことができ、100 年以上供用することも可能といわれています。また、橋梁を維持する費用は総額 25 億円（事後保全型）から１６億円程度（予防保全型）に節約できるとの試算になっており、大幅なコスト縮減も図ることができると期待されます。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。

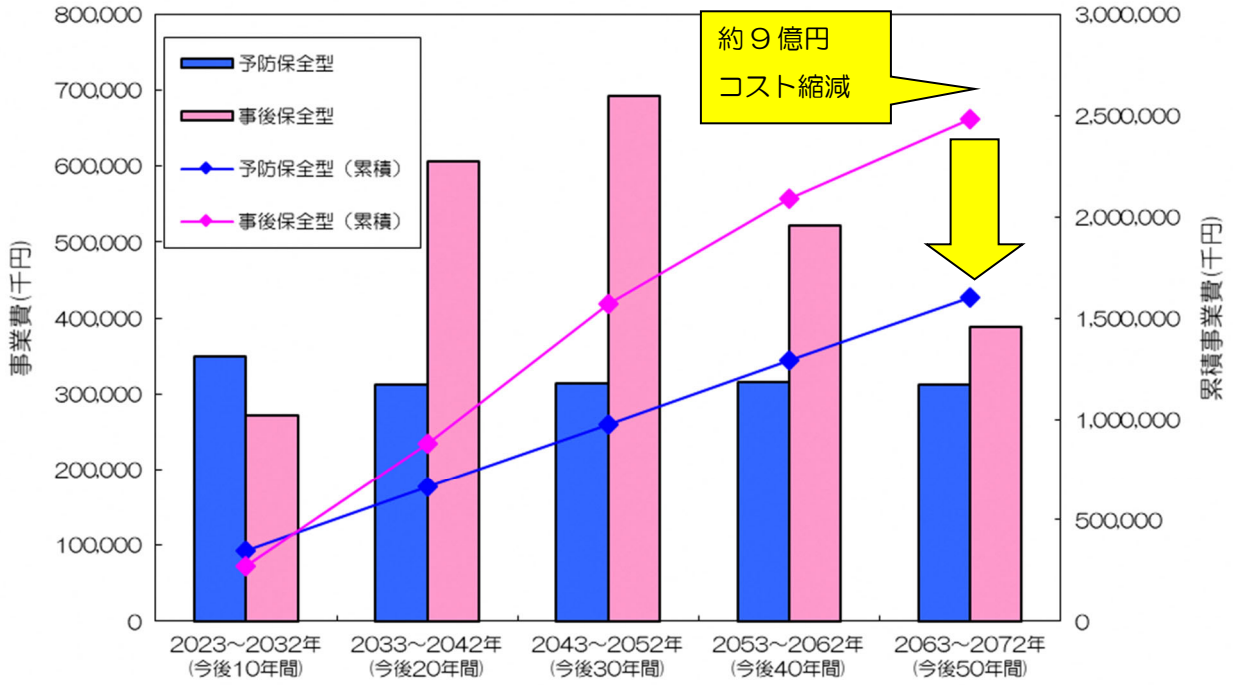

図 ３　事後保全型と予防保全型の工事費予測

※上記費用は現時点での概算です。

7．長寿命化修繕計画に基づく今後の取り組み

東洋町は、今回策定した長寿命化修繕計画に基づき、予防的な修繕対策の実施を図ります。

また、橋梁の点検ならびに補修において令和１０年度までに、新技術・新工法を５橋程度の施設に活用を目指します。新技術を活用することで、従来技術を活用した場合と比較して、令和 10 年度までの５年間で約 50 万円程度のコスト縮減を目指します。

迂回路が存在し集約可能な橋梁を対象に令和１５年度までに、利用状況の調査を行い利用者との協

議・撤去を検討し 10 年以内に 1 橋程度の集約化・撤去を行うことにより、今後 50 年間に係る維持管理コストを約 1,990 万円程度縮減することを目指します。

問い合わせ先：東洋町 産業建設課
〒781-7414 高知県安芸郡東洋町大字生見 758-3
TEL 0887-29-3395